

# 海軍公報

(部内限) 第二千六百號

海軍大臣官房

昭和十二年五月一日(土)

## ○辭令



(各通)



滿洲國へ出張ヲ命ス(三十九日海軍省)

(各通)

上海へ出張ヲ命ス(五月同)

驅逐艦海風審議委員ヲ命ス(五月海軍艦政本部)

海軍中尉 德永 一孝(海風)

海軍機關少佐 富永 章

海軍技師 副島 序吉

海軍技師 福田 欣二

海軍技師 池村 重三

同 田中 堯

技 生 松永 常夫

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

同 松沼 一雄

## ○雜款

○軍艦春日行動豫定

地名 着

發

吳 須賀

五月三日

五月五日

○特務艦知床行動豫定變更(四月二十三日本欄参照)

地名 着

發

吳 須賀

五月三日

五月五日

鹿ノ川

七月八日

七月九日

ヒ 桑港

五月三十日

五月一日

吳 須賀

六月十四日

六月四日

吳 須賀

七月八日

七月九日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

吳 須賀

五月三日

五月五日

海軍公報（部内限）第二千六百號 昭和十二年五月一日

三二八

○郵便物發送先  
 横須賀警備戰隊司令部宛  
 五月十九日迄ニ到達見込ノモノハ  
 其ノ後ハ

佐世保	七日	八日
古江(假泊)	九日	九日
基隆	十二日	十三日
馬公	十四日	十六日
上海	十九日	二十一日
佐世保	二十三日	二十四日
吳	二十五日	二十六日
横須賀	二十八日	

○郵便物發送先變更(四月二十三日)  
 特務艦知床宛

○郵便物發送先訂正(四月二十八日)  
 特務艦襟裳宛

五月十六日迄ニ到達見込ノモノハ

横須賀	五月十六日迄ニ到達見込ノモノハ	横須賀
直江津	同 二十五日迄ニ到達見込ノモノハ	直江津
柏崎	同 三十日迄ニ到達見込ノモノハ	柏崎
新潟	同 一日迄ニ到達見込ノモノハ	新潟
酒田	同 三日迄ニ到達見込ノモノハ	酒田
船川	同 三日迄ニ到達見込ノモノハ	船川

五月四日迄ニ到達見込ノモノハ

吳	五月四日迄ニ到達見込ノモノハ	吳
佐世保	同 七日迄ニ到達見込ノモノハ	佐世保

同 十二日迄ニ到達見込ノモノハ

基隆	同 十二日迄ニ到達見込ノモノハ	基隆
馬公	同 十五日迄ニ到達見込ノモノハ	馬公
上海	同 二十日迄ニ到達見込ノモノハ	上海
佐世保	同 二十三日迄ニ到達見込ノモノハ	佐世保
吳	同 二十四日迄ニ到達見込ノモノハ	吳
横須賀	同 二十四日迄ニ到達見込ノモノハ	横須賀

四月三十日迄ニ到達見込ノモノハ

六月四日迄ニ到達見込ノモノハ

其ノ後ハ

吳 横濱郵便局氣付

○艦船所在

▲印ハ「ハカ」ヲ指定ラ要セズ

○五月一日午前十時調

【横須賀】

對馬▲大鯨▲鳥海、愛宕、那珂▲阿武隈

山城、木曾、春日

沖風▲峯風▲戸響▲雷▲電▲羽風、

秋風▲戸島風▲汐風▲灘風▲

戸掃六、掃五、掃二▲掃四、掃一、掃三

富士▲尻矢、知床

(鈴谷)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

戸太刀風、夕風、戸曉、漣、狹霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五八、呂五九▲、戸伊二四、伊二三、伊七

(雁)▲(鳩)▲

浦賀▲(涼風)▲

館山▲(山風)▲

神▲(磐手、八雲)

大▲(神風、野風、波風、沼風、帆風)

鉏路▲(矢矧、韓崎▲、比叡▲、淺間、最上▲、球磨、

扶桑、青葉、衣笠、安宅▲、戸羽黒▲、那智▲、

伊勢、戸白鷺、戸長鯨、大井

夕顔、戸藤、薄、叢雲、薄雲、矢風、戸初雪、

吹雪、白雪

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

【大阪】

古鷹▲

【神戸】

戸伊六三▲、伊五九▲

【因島】

(熊野)▲(伊八)▲、(伊七五)▲、(呂三四)▲

【相生】

能登呂

【玉】

(鷲)▲

【高松】

(雉)▲

【江田】

江風

【宿毛】

戸陸奥、長門、日向、戸榛名、霧島、戸由良、

名取、鬼怒、戸川内、戸五十鈴、戸高雄、

摩耶、戸神通、戸迅鯨

夕立、村雨、五月雨、戸時雨、白露、有明、

夕暮、戸初霜、子日、若葉、初春、彌生、

戸朧、曙、潮、戸天霧、朝霧、夕霧、戸綾波、

磯波、浦波、敷波

戸伊二、伊一、伊三、戸伊五、伊四、伊六、

戸伊六八、伊六九、伊七〇、戸伊六一、

伊六二、伊六四、戸伊六五、伊六六、伊六七

間宮、鳴戸、鶴見

海軍公報(部内限) 第二千六百號 昭和十二年五月一日

【佐伯】▷龍驤、風翔

卯月

掃一三

【細島】▷陸月、如月

吾妻

▷白雲、東雲

【佐世保】▷赤城、加古、長良、金剛、▷常磐、妙高、

▷北上

櫻、梨、竹、榎、桃、柳、檜、菱、蓮、

▷望月、菊月、三月、夕月

▷呂三〇、▷呂三一、▷呂三二、▷呂六〇、

▷呂六一、▷呂六二、▷呂六七、▷呂六五、

▷呂六六、▷呂六八、▷呂六三、▷伊六〇

▷初雁、真鶴

▷敷島、早鞆

(朝潮)、(伊七四)

【長崎】▷三隈、疾風

【有明灣】▷加賀、水無月、阜月、長月

▷文月

▷松風、朝風、旗風、春風、▷芙蓉

▷檜、葦、梯

【清津】▷龍田、淀

▷葵

【壺蘆島】▷菊、萩

▷出雲、▷天龍、▷八重山、堅田、鳥羽、

【南京】▷夕張

▷漢口、▷勢多

▷長沙、▷比良

▷宜昌、▷熱海

▷重慶、▷二見

【廣東】▷刈萱

▷沖島、神威、駒橋、勝力、▷多摩

▷夕風、朝風

▷呂六四

▷鴻、隼、鴨、鵲

▷膠州

【航海中】

▷足柄 (四月二十四日亞丁發 | 馬太)

▷隱戸 (四月二十六日橫須賀發 | 桑港)

▷佐多 (四月二十九日舞鶴發 | 橫須賀)

▷栗 (四月三十日上海發 | 南京)

▷梅 (四月三十日上海發 | 蕪湖)

▷若竹、吳竹、早苗 (四月三十日基隆發 | 汕頭)

▷朝顔 (四月三十日基隆發 | 福州)

▷掃一六 (四月三十日吳發 | 旅順)

▷掃一四 (四月三十日吳發 | 大連)

▷千鳥 (四月三十日古江發 | 長崎)

▷野島 (四月三十日古江發 | 吳)

▷友鶴 (四月三十日古江發 | 吳)

▷洲崎 (一日橫濱發 | 橫須賀)

# 海軍公報

(部内限) 第二千六百一號

昭和十二年五月三日(月)

## 海軍大臣官房

### ○ 辭 令

上海及漢口へ出張ヲ命ス  
海軍造兵中尉 深田 正雄

漢口へ出張ヲ命ス(以上<sup>四十四</sup>海軍省)  
海軍技手 川崎 松之

### ○ 雜 款

○ 旗艦變更  
第一艦隊司令長官ハ第三戰隊司令官ノ旗艦ヲ四月三十日榛名ヨリ霧島ニ、吳警備戰隊司令官ハ同月二十八日伊勢ヨリ長鯨ニ、横須賀警備戰隊司令官ハ本月一日木曾ヨリ山城ニ、佐世保警備戰隊司令官ハ同日北上ヨリ妙高ニ就モ變更セリ

○ 司令驅逐艦變更  
第二十二驅逐隊司令ハ四月二十九日司令驅逐艦ヲ水無月ヨリ文月ニ、第二十三驅逐隊司令ハ同三十日望月ヨリ菊月ニ就モ變更セリ

### ○ 軍艦出雲行動豫定

地名 着 發  
上海 五月十一日 五月八日  
佐世保 五月十一日

### ○ 第十二驅逐隊(薄雲、叢雲)行動豫定

地名 着 發  
吳 五月九日 五月七日  
舞鶴 五月九日

### ○ 特務艦隱戸行動豫定變更(四月三十日)

地名 着 發  
吳 四月二十日 四月二十日  
鹿ノ川 四月二十四日 二十一日  
横須賀 五月二十四日 二十六日  
桑 港 五月二十四日 二十九日  
ヒ 港 六月八日 六月十一日  
飛渡ノ瀬 七月二日 七月三日  
吳 七月三日

### ○ 郵便物發送先

海軍公報(部内限) 第二千六百一號 昭和十二年五月三日

三三二

海軍公報(部内限) 第二千六百一號 昭和十二年五月三日

三三二

第三艦隊司令部及軍艦龍田宛

五月 九 日以後到達見込ノモノハ 上 海

軍艦出雲宛

五月 五 日迄ニ到達見込ノモノハ 上 海

其ノ後ハ 佐 世 保

但シ第三艦隊司令部ヘノ郵便物ハ從來通「佐世保郵便局氣付第三艦隊司令部宛」御送付相成度

第十二驅逐隊(薄雲、叢雲)宛

五月 六 日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

其ノ後ハ 舞 鶴

○艦船所在

指印ハハホ  
定タ要セメ

○五月三日午前十時調

【横須賀】

對馬▲大鯨▲鳥海、愛宕、那珂▲阿武隈

山城、▷木曾、春日

沖風▲、峯風▲、▷響▲、雷▲、電▲、羽風、

秋風、▷島風▲、沙風▲、灘風▲

▷掃六、掃五、掃二▲、掃四、掃一、掃三

富士▲、尻矢、洲崎

(鈴谷)▲、(劍崎)▲、(高崎)▲

【長浦】

▷巖島

▷太刀風、夕風、▷曉、漣、狹霧

呂五四▲、呂五五▲、呂五六▲、呂五七▲、

呂五八▲、呂五九▲、▷伊二四、伊二三、伊七

【石川島】

(鳩)▲

【横濱】

(雁)▲

【浦賀】

(山風)▲、(涼風)▲

【館山】

澤風▲

【神社】

▷磐手、八雲

【大湊】

▷神風、野風、波風、沼風、帆風

【吳】

矢矧、韓崎▲、比叡▲、淺間、最上▲、球磨、

扶桑、青葉、衣笠、安宅▲、▷羽黒▲、那智▲、

伊勢、▷白鷹

夕顔、▷藤、薄、叢雲、薄雲、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、呂三三、伊五一、伊五二、

伊五五▲、▷伊二二、伊二一、▷伊五四、

【大阪】

古鷹▲

【神戸】

(滿潮)▲

【因島】

▷伊六三、伊五九▲

【相生】

(熊野)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲、(呂三四)▲

【相模】

能登呂

【玉】

(鷲)▲

【江田内】

(雉)▲

【徳山】

平戸

【長濱】

▷長鯨

【宿毛】

▷初雪、吹雪、白雪

【浦賀】

▷伊七一、伊七三、伊七二、伊五三

【館山】

▷掃一七、掃一八

【大湊】

▷陸奥、長門、日向、▷霧島、榛名、▷由良、

【神戶】

名取、鬼怒、▷川内、▷五十鈴、▷高雄、

【大湊】

摩耶、▷神通、▷迅鯨

【大湊】

▷夕立、村雨、五月雨、▷時雨、白露、有明、

【大湊】

夕暮、▷初霜、子日、若葉、初春、▷臘、

【大湊】

曙、潮、▷天霧、朝霧、夕霧、▷綾波、磯波、

【大湊】

浦波、敷波

【大湊】

▷伊二、伊一、伊三、▷伊五、伊四、伊六、

【大湊】

▷伊六八、伊六九、伊七〇、▷伊六一、

【大湊】

伊六二、伊六四、▷伊六五、伊六六、伊六七

【大湊】

間宮、鳴戸、鶴見

海軍公報(部内限) 第二千六百一號 昭和十二年五月三日

三三三

【尾末灣】 陸月、如月	【佐伯】 龍驤、鳳翔 卯月、彌生	【舞鶴】 吾妻 白雲、東雲 (春雨) (海風) (大潮)	【佐世保】 赤城、加古、長良、金剛、北上、 樫、梨、竹、榎、桃、柳、檜、菱、蕁、 蓼、蓬、江風 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、 呂六一、呂六二、呂六七、呂六五、 呂六六、呂六八、呂六三、伊六〇、 初雁、真鶴、千鳥 敷島、早柄 (朝潮) (伊七四)	【福岡】 妙高 菊月、望月、三月月、夕月	【古江】 友鶴 三隈	【長崎】 追風、疾風	【有明灣】 加賀 文月、水無月、阜月、長月	【馬公】 嵯峨 松風、朝風、旗風、春風	【基隆】 芙蓉	【蔚山】 掃一五、掃二三	【清津】 檜、葎、梯	【旅順】 龍田、淀	
【青島】 葵、萩 出雲、天龍、八重山、堅田、鳥羽、夕張	【上海】 栗	【南京】 梅	【蕪湖】 保津	【九江】 勢多	【漢口】 比良	【長沙】 熱海	【宜昌】 二見	【重慶】 朝顏	【馬尼拉】 朝顏	【汕頭】 若竹、吳竹、早苗	【廣東】 刈萱	【馬太】 足柄	【作業地】 沖島、神威、駒橋、勝力、多摩 夕風、朝風 呂六四 呂六四 鶴、雉、鴨、鵲 膠州、大泊
【航海中】	【隱戸】 四月二十六日横須賀發—桑港( )	【佐多】 四月二十九日舞鶴發—横須賀( )	【掃一六】 四月三十日吳發—旅順( )	【掃一四】 四月三十日吳發—大連( )	【襟裳】 一日吳發—桑港( )	【知床】 一日横須賀發—吳( )	【蓮】 二日南京發—上海( )	【野島】 二日吳發—横須賀( )					



# 海軍公報

(部内限) 第二千六百二號

海軍大臣官房

昭和十二年五月四日(火)

## ○ 辭令

通信事務官 松間 茂春  
 第一海軍軍用郵便所長ヲ命ス(三十三海軍省)  
 同 坂部 一郎  
 第一海軍軍用郵便所長ヲ免ス(諸同)

## ○ 雜款

○軍艦木曾行動豫定  
 地名 着 發  
 横須賀 五月十日 五月十日  
 芝浦 五月十九日 五月十九日  
 横須賀 五月十九日 五月十九日

○軍艦大井行動豫定  
 地名 着 發  
 吳 五月二日 五月一日  
 安下庄 五月二日 五月二日  
 德山 五月二日 五月四日

室津	宮島	吳下	德山	安下庄	吳下	宮島	三津	室津
五月四日	五月五日	五月七日	五月九日	五月十日	五月十一日	五月十二日	五月十三日	五月十四日
六月四日	六月五日	六月七日	六月九日	六月十日	六月十一日	六月十二日	六月十三日	六月十四日

○第二十一水雷隊(千鳥)行動豫定  
 地名 着 發  
 鹿兒島縣古江 五月二日 四月三十日  
 長崎 五月二日 五月二日  
 佐世保 五月二日 五月二日

海軍公報(部内限) 第二千六百二號

昭和十二年五月四日

三五

○特務艦大泊行動豫定

地名	着	發
大湊	四月二十八日	四月二十七日
大泊	五月八日	二十九日
大湊	五月十一日	五月九日

○郵便物發送先

軍艦木曾宛	五月九日迄ニ到達見込ノモノハ	横須賀
同	五月十八日迄ニ同	芝浦
其ノ後ハ		横須賀
追テ至同十八日ノ期間陸岸繋留中ニ付電報ニハ「ハ		
ホ」ノ指定ヲ要セズ		

軍艦大井宛

五月六日迄ニ到達見込ノモノハ	三濱
同八日迄ニ同	嚴島
同十二日迄ニ同	吳山
同十五日迄ニ同	徳濱
同十八日迄ニ同	三津島
同二十日迄ニ同	嚴島
同二十二日迄ニ同	吳縣
同二十四日迄ニ同	愛知縣蒲郡

驅逐艦江風宛

自今	同二十九日迄ニ同	名古屋
	同三十一日迄ニ同	四日市
其ノ後ハ	六月一日迄ニ同	津市
		吳

特務艦洲崎宛

五月五日迄ニ到達見込ノモノハ	横須賀
六月十七日迄ニ同	横須賀
其ノ後ハ	横濱郵便局氣付(軍艦郵便)
追テ本艦ハ五月六日桑港ニ向ケ出港七月十八日横須賀歸港ノ豫定	

特務艦大泊宛

自今	大湊郵便局留置
----	---------

○郵便物發送先變更(四月七日)

特務艦野島宛	五月五日迄ニ到達見込ノモノハ	横須賀
同	同八日迄ニ同	名古屋
同	同十二日迄ニ同	別府
其ノ後ハ		佐世保

○艦船所在

指▲印ハ「ハカ」ヲ要セズ

○五月四日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、大鯨▲、鳥海、愛宕、那珂▲、阿武隈、春日

沖風▲、峯風▲、戸響▲、雷▲、電▲、羽風、

秋風、戸島風▲、沙風▲、灘風▲

戸掃六、掃五、掃四、掃一、掃三

富士▲、尻矢、洲崎、佐多

(鈴谷)▲、(劍崎)▲、(高崎)▲

【長浦】

嚴島

戸太刀風、戸曉、漣、狹霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五八▲、呂五九▲、戸伊二四、伊二三、伊七

【石川島】

(鳩)

【横濱】

(雁)

【浦賀】

(山風)

【館山】

(涼風)

澤風▲、夕風

【神社】

磐手、八雲

【大湊】

神風、野風、波風、沼風、帆風

【吳】

矢矧、韓崎▲、比叡▲、淺間、最上▲、球磨、扶桑、青葉、衣笠、安宅▲、戸羽黒▲、那智▲、伊勢、戸白鷹

夕顔、戸藤、薄、叢雲、薄雲、矢風、戸初雪、吹雪、白雪

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

【大阪】

古鷹▲

【神戸】

(滿潮) 戸伊六三▲、伊五九▲

【因島】

熊野(▲)伊八▲、(伊七五)▲、(呂三四)▲

【相生】

能登呂

【玉】

(鷺)▲

【江田内】

平戸

【徳山】

大井

【宿毛】

陸奥、長門、日向、戸霧島、榛名、戸由良、名取、鬼怒、戸川内、戸五十鈴、戸高雄、摩耶、戸神通、戸迅鯨

夕立、村雨、五月雨、白露、有明、夕暮、戸初霜、子日、若葉、初春、戸臘、曙、潮、戸天霧、朝霧、夕霧、戸綾波、磯波、浦波、敷波

戸伊二、伊一、伊三、戸伊五、伊四、伊六、戸伊六八、伊六九、伊七〇、戸伊六一、伊六二、伊六四、戸伊六五、伊六六、伊六七

間宮、鳴戸、鶴見

【尾末灣】

陸月、如月

【佐伯】

龍驤、鳳翔

海軍公報(部内限)第二千六百二號 昭和十二年五月四日

【舞鶴】 卯月、彌生  
 吾妻▲  
 白雲▲、東雲▲  
 (春雨)▲、(海風)▲、(大潮)▲

【佐世保】 赤城▲、加古、長良、金剛、北上、▷常磐  
 檜▲、梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、菱▲、葦▲  
 蓼▲、蓬▲、江風  
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇、  
 呂六一、呂六二、呂六六、呂六五、  
 呂六六、呂六八、呂六三、伊六〇  
 初雁、真鶴、千鳥  
 敷島▲、早鞆  
 (朝潮)▲、(伊七四)▲

【瀨岡】 ▷妙高  
 菊月、望月、三月月、夕月

【古江】 友鶴  
 三隈▲

【長崎】 追風▲、疾風▲

【有明灣】 ▷加賀、▷長鯨  
 文月、水無月、阜月、長月  
 伊七一、伊七三、伊七二、伊五三  
 掃一七、掃一八

【馬公】 嵯峨▲  
 松風、朝風、旗風、春風

【基隆】 芙蓉  
 掃一五、掃一三

【蔚山】 掃一五、掃一三

【清津】 檜、葦、柿

【旅順】 龍田

【青島】 葵  
 掃一六、掃一四

【上海】 出雲、▷天龍、▷八重山、堅田、鳥羽、▷夕張

【南京】 栗

【漢口】 保津

【九江】 勢多

【長沙】 比良

【宜昌】 熱海

【重慶】 二見

【馬尼拉】 朝顔

【汕頭】 若竹、吳竹、早苗

【廣東】 刈萱

【作業地】 ▷沖島、神威、駒橋、勝力、▷多摩、淀  
 夕風、朝風  
 呂六四  
 鴻、隼、鴨、鵲  
 膠州、大泊

【航海中】  
 隱戶 (四月二十六日横須賀發—桑港へ)  
 襟裳 (一日吳發—桑港へ)  
 野島 (二日吳發—横須賀へ)  
 足柄 (三日馬太發—「ボーツマス」へ)  
 木曾 (三日横須賀發—相模灘へ)  
 時雨 (四日宿毛發—佐伯へ)  
 掃二 (四日館山發—相模灘へ)

(別紙八頁)

海軍公報(部内限)號外

昭和十二年五月四日(火)  
海軍大臣官房

○通牒

經契第三號ノ三七〇

昭和十二年四月一日

海軍省經理局長

各海軍工作廳長  
内國各地監督長  
首席監督官

民間會社ニ銑鐵供給方協定ニ關スル件通牒

民間會社ニ於テ海軍受註工事ノ爲ニ要スル銑鐵ノ供給ニ關シ左記ノ通日本製鐵株式會社ト協定候條可然處理相成度

記

銑鐵供給協定書

海軍省經理局長村上春一(以下甲ト稱ス)ハ日本製鐵株式會社社長中井勵作(以下乙ト稱ス)ト銑鐵ノ供給ニ關シ協定スルコト左ノ如シ  
第一條 乙ハ別紙海軍用銑鐵需給要項ニ依リ海軍工事

海軍公報(部内限)號外

受註會社(以下丙ト稱ス)ヨリ銑鐵供給ノ申込アリタル場合ハ其ノ取引販賣機關(以下丁ト稱ス)ヲシテ優先的ニ之レガ供給ヲ爲サシムルモノトス

第二條 供給品ノ單價ハ日本製鐵株式會社ノ建値ノ一割増以下トシ其ノ代金ハ丙ヨリ直接丁ニ支拂フモノトス  
但シ右代金ノ支拂ニ關シ丁ノ請求アリタル場合ハ甲(海軍省以外ノ契約ニ在リテハ當該支出官)ハ丙ニ支拂フベキ代金ヲ以テ之ガ支拂ヲナスモノトス

第三條 供給品受渡場所ハ日本製鐵株式會社ノ指定河岸又ハ問屋ノ置場所トス  
第四條 丙丁間ノ契約ハ丁所定ノ手續ニ依リ之ヲ締結スルモノトス

昭和十二年四月一日

海軍省經理局長 村上 春一

日本製鐵株式會社

社長 中井 勵作

海軍用銑鐵需給要項

- 一、海軍工作廳ニ於テ所要ノ製鋼用及鑄物用銑鐵ハ特殊ノモノヲ除キ日本製鐵株式會社ヨリ供給ヲ受クルモノトス
- 二、供給ヲ受クベキ品種ハ別表ノ範圍ニ限ルモノトス
- 三、海軍艦政本部ハ年度内所要ノ概量(二號銑鐵ニ在リテハ所要期共)ヲ豫メ日本製鐵株式會社販賣部ニ提示スルモノトス
- 四、各工作廳ニ於テハ前項ノ資料ヲ別紙様式第一ニ依リ海軍艦政本部ニ通知スルモノトス
- 五、各種銑鐵ノ供給單價ハ海軍省經理局ト日本製鐵株式會社トノ間ニ協定セル價格ニ依ルモノトス
- 六、民間會社ニ對シテハ海軍註文工事ニ直接必要ナル銑鐵ニ限リ日本製鐵株式會社ニ於テ其ノ販賣機關ヲシテ優先的ニ供給ヲ爲サシムルモノトス
- 但シ其ノ供給單價竝ニ之レカ引渡ニ關スル條件等ハ別ニ協定セル所ニ依ルモノトス
- 七、日本製鐵株式會社ハ各應ヨリノ註文後一ヶ月以内ニ納入スルモノトス
- 但シ二號銑鐵ニ關シテハ豫メ其ノ品種、數量、所要期ヲ提示シアルモノニ限ル

八、註文方法及報告ハ左ノ通トス

- (イ) 海軍直接所要ノモノ  
所要應ニ於テ直接日本製鐵株式會社ニ註文契約スルモノトス
- 但シ發註ト同時ニ別紙様式第二ニ依リ註文報告書ヲ海軍艦政本部ニ送付スルモノトス
- (ロ) 民間會社所要ノモノ  
民間會社ニ於テ供給ヲ受ケントスル場合ニハ別紙様式第三ノ註文申込書ニ充用工事明細書ヲ添ヘ充用工事發註應ノ證印ヲ受ケ日本製鐵株式會社販賣部ニ申込ムモノトス
- 但シ充用工事明細書ハ發註應ニ留置クモノトス
- 供給ヲ受ケタル民間會社ハ遲滞ナク別紙様式第四ニ依リ受給報告ヲ發註應ヲ經テ海軍艦政本部ニ提出スルモノトス

日本製鐵株式會社供給銑鐵品種表

輸西		全炭素	珪素	滿	俺	燐	硫	黃	記事
號	三、〇以上	三、二	八、〇	六内外	〇、五以下	〇、〇六	以下	標準分	
號	一、五	三、二	〇、六	〇、五以下	〇、〇八	以下	析ヲ示ス		
號	〇、八	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下

品 種	總數量	所 要 期 別 數 量		備 考	應 名
		四 月 五 月 六 月	七 月 八 月 九 月		
					<p>備 考</p> <p>民間會社ニ供給スベキ分ハ特別ナル場合ノ外三號銃 (市販品)ニ限ルモノトス</p> <p>樣式第一</p> <p>十二年度狩物用銃鐵所要求調</p>

  

樣式第二					應 名
銃鐵品種	數量	納 期	納入場所	備 考	
					<p>合併契約銃鐵註文報告</p> <p>樣式第三</p> <p>書類番號</p> <p>製鋼用 銃鐵供給申込書</p> <p>製鋼用 銃鐵供給申込書</p> <p>日本製鐵株式會社御中</p> <p>昭和十二年四月一日附海軍省經理局長ト日本製鐵株式會社社長トノ間ニ協定セル銃鐵供給協定書ノ條項了承ノ上下記ノ通供給方申込候也</p> <p>年 月 日</p> <p>會 社 名</p>

  

品 種	數量	納 期	引 場 所	用 途	備 考
八幡三號	50 r	19-9-10	大阪	海軍省註文用品	成分同一ナランニテニ可

海軍公報 (部内限) 號外

<p>以上海軍註文品ニ對スル所要品ニ相違ナキヲ以テ供給相成候儀也</p> <p>年 月 日</p> <p>海軍廳名</p> <p>註文書番號</p>		<p>銑鐵品種</p> <p>數量</p> <p>充用</p> <p>品名</p> <p>數量</p> <p>物價</p> <p>銑鐵品種</p> <p>數量</p> <p>備考</p>	
<p>海軍工專用銑鐵受給報告</p> <p>會社名</p>		<p>經契第三號ノ四八八</p> <p>昭和十二年四月十二日</p> <p>海軍省經理局長</p> <p>關係各廳長殿</p> <p>陸上照用タングステン電球購買合併</p> <p>契約ノ件通牒</p> <p>首題ノ件ニ關シ左記ノ通東電電球株式會社、東京電氣株式會社ト契約締結致候條左ニ依リ處理相成度</p> <p>左記</p> <p>一二契雜第七號</p> <p>(八)</p> <p>契約書</p>	
<p>樣式第四</p>		<p>銑鐵品種</p> <p>數量</p> <p>充用</p> <p>品名</p> <p>數量</p> <p>物價</p> <p>銑鐵品種</p> <p>數量</p> <p>備考</p>	



海軍省經理局長村上春一（以下甲ト稱ス）ハ別紙記載ノ陸上照明用タングステン電球（以下本品ト稱ス）購買ニ關シ供給者東電電球株式會社取締役社長益田元亮、東京電氣株式會社專務取締役社長山口喜三郎（以下乙ト稱ス）ト契約スルコト左ノ如シ

第一條 乙ハ昭和十二年四月十二日以降昭和十三年三月三十一日ニ至ル期間甲又ハ甲ノ指定スル者ノ註文ニヨリ別紙記載單價ヲ以テ本品ヲ供給スルモノトス

第二條 本品規格ハ日本電氣工業委員會制定標準仕様書ニヨルモノトス

第三條 甲又ハ甲ノ指定スル者本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ品種、數量、納期、納入場所其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル註文書（様式甲）ヲ乙ニ送付ス

第四條 乙ハ前條ノ註文書ヲ受ケタルトキハ購買番號、單價、代價其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル承諾書（様式乙）ヲ註文者ニ提出スルモノトス

第五條 本品納入地ニ到着シタルトキハ受領應ニ於テ必要ト認ムル検査ヲ行ヒ合格ノ上之ガ引渡ヲ受クルモノトス

第六條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内詳明細書

ヲ附シタル代金請求書ヲ受領應ニ提出スルモノトス

分割納入ノ場合ニアリテハ前項ニ準ジ請求書ヲ提出スルコトヲ得

第七條 官ニ納入シタル本品代價ハ前條ニ依リ代金請求書受理後十五日以内ニ當該支出官ニ於テ支拂フモノトス

第八條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非ザレバ本契約ニ因リテ生ズル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得ザルモノトス

第九條 甲ハ必要ト認ムル場合ニハ甲ノ指定スル官吏ヲシテ本品ノ原價ヲ調査セシムルコトアルベシ此ノ場合乙ハ官ニ於テ必要ト認ムル資料ヲ提出スルモノトス

第十條 本契約ニ明掲ノ外ハ海軍契約規程並同施行手續ニ依ルモノトス

右契約ヲ證スル爲メ本書二通ヲ作り各自記名捺印シテ各其ノ一通ヲ保有スルモノナリ

昭和十二年四月十二日

海軍省經理局長 村上 春 一  
東電電球株式會社  
取締役社長 益田元亮代理

海軍公報 (部内限) 號外

<p>別紙 陸上照明用電球單價表</p> <p>株式會社米井商店 取締役社長 松村 昇 東京電氣株式會社 專務取締役社長 山日喜三郎</p>	<p>V</p> <p>W</p> <p>CP</p> <p>單 價</p> <p>供 給 會 社</p>	<table border="1"> <tr> <td>一〇〇 及一一〇</td> <td>一〇〇 及一一〇</td> <td>一〇〇 及一一〇</td> <td>一〇〇 及一一〇</td> <td>一〇〇 及一一〇</td> <td>一〇〇 及一一〇</td> <td>一〇〇 及一一〇</td> <td>一〇〇 及一一〇</td> <td>一〇〇 及一一〇</td> <td>一〇〇 及一一〇</td> </tr> <tr> <td>一五〇</td> <td>一〇〇</td> <td>八〇</td> <td>六〇</td> <td>四〇</td> <td>三〇</td> <td>二〇</td> <td>一五</td> <td>一〇</td> <td>五</td> </tr> <tr> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>四五〇</td> <td>二六〇</td> <td>二五五</td> <td>一六〇</td> <td>一五三</td> <td>一五〇</td> <td>一三五</td> <td>一三四</td> <td>一三四</td> <td>一三四</td> </tr> <tr> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> </table>	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一五〇	一〇〇	八〇	六〇	四〇	三〇	二〇	一五	一〇	五	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	四五〇	二六〇	二五五	一六〇	一五三	一五〇	一三五	一三四	一三四	一三四	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇																																																					
一五〇	一〇〇	八〇	六〇	四〇	三〇	二〇	一五	一〇	五																																																					
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇																																																					
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇																																																					
四五〇	二六〇	二五五	一六〇	一五三	一五〇	一三五	一三四	一三四	一三四																																																					
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇																																																					
<table border="1"> <tr> <td>一〇〇 及一一〇</td> <td>一〇〇 及一一〇</td> <td>一〇〇 及一一〇</td> <td>一〇〇 及一一〇</td> <td>一〇〇 及一一〇</td> <td>一〇〇 及一一〇</td> <td>一〇〇 及一一〇</td> <td>一〇〇 及一一〇</td> </tr> <tr> <td>二〇〇</td> <td>二〇〇</td> <td>二〇〇</td> <td>二〇〇</td> <td>二〇〇</td> <td>二〇〇</td> <td>二〇〇</td> <td>二〇〇</td> </tr> <tr> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> <tr> <td>七〇〇</td> <td>七〇〇</td> <td>七〇〇</td> <td>七〇〇</td> <td>七〇〇</td> <td>七〇〇</td> <td>七〇〇</td> <td>七〇〇</td> </tr> <tr> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> </table> <p>東京電氣株式會社</p>	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	<p>(様式二頁添)</p>													
一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇	一〇〇 及一一〇																																																							
二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇																																																							
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇																																																							
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇																																																							
七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇																																																							
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇																																																							

1371

番 號

昭和 年 月 日

註文者

御 中

様式甲 (美濃紙半葉)

陸上照明用タングステン電球註文書

契約番號				納入場所					
納 期									
V	W(CP)	型 号	茄子 洋梨	艶 透明別	消 插込別	達 挿込別	個 數	單 價	代 價
計									
記 事									

(昭和十二年五月四日公報 (部内限) 號外別紙)

1372

番 號

様式乙  
(美濃紙半葉)

昭和 年 月 日

、 、 、 、 株 式 會 社

、 、 、 、 御 申

陸上照明用タングステン電球御注文承諾書

但シ納期ハ本表申出通御承認被下度願上候

購買番號		納 期	指 定 申 出					
註 文 年 月 日		納入場所						
V	W(CP)	型 加子 洋梨	艶 消 透明別	捻 込 込 込	達 込 込 込	個 數	單 價	代 價
計								
記 事								

# 海軍公報

(部内限) 第二千六百三號

海軍大臣官房

昭和十二年五月五日(水)

## ○ 雜 款

○司令潜水艦變更  
 第十八潜水隊司令ハ本月一日司令潜水艦ヲ伊號第五十四潜水艦ヨリ伊號第五十三潜水艦ニ、第二十潜水隊司令ハ同日伊號第七十一潜水艦ヨリ伊號第七十三潜水艦ニ孰モ變更セリ

### ○郵便物發送先

佐世保警備戰隊司令部宛

五月 十日迄ニ到達見込ノモノハ

同 二十六日迄ニ 同 軍艦妙高氣付  
 其ノ後ハ 軍艦北上氣付  
 佐世保軍艦金剛氣付

軍艦妙高宛(三月二十七日)

五月 六日迄ニ到達見込ノモノハ

同 十日迄ニ 同 長崎  
 同 十三日迄ニ 同 熊本縣三角  
 同 十五日迄ニ 同 大分  
 同 十八日迄ニ 同 愛媛縣八幡濱  
 同 三津濱

同 二十日迄ニ 同 同三島  
 同 二十二日迄ニ 同 香川縣坂田  
 同 二十四日迄ニ 同 高松  
 其ノ後ハ 佐世保  
 軍艦北上宛 長崎

五月 六日迄ニ到達見込ノモノハ

同 八日迄ニ 同 熊本縣三角  
 同 十一日迄ニ 同 福岡縣三池  
 同 十四日迄ニ 同 熊本縣本渡  
 同 十六日迄ニ 同 同水俣  
 同 十八日迄ニ 同 鹿兒島縣米ノ津  
 同 二十日迄ニ 同 同枕崎  
 同 二十二日迄ニ 同 同山崎  
 同 二十三日迄ニ 同 宮崎縣細島  
 同 二十七日迄ニ 同 福岡縣唐津  
 同 二十九日迄ニ 同 佐賀縣唐津  
 其ノ後ハ 佐世保  
 第二十三驅逐隊(菊月)宛 軍艦妙高ニ同ジ  
 五月 十日迄ハ 那霸  
 同 十六日迄ニ到達見込ノモノハ

海軍公報(部内限) 第二千六百三號 昭和十二年五月五日

三二九

其ノ後ハ 佐世保

驅逐艦望月宛(給與關係書類望月氣付主計長宛)

五月十日迄ハ 菊月ニ同ジ

同 十四日迄ニ到達見込ノモノハ 福岡縣若松

同 十八日迄ニ同 長崎縣嚴原

同 二十二日迄ニ同 同 福江

驅逐艦夕月宛

五月六日迄ハ 軍艦妙高ニ同ジ

同 八日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保

同 十五日迄ニ同 基隆

其ノ後ハ 佐世保

驅逐艦三日月宛

五月六日迄ハ 軍艦妙高ニ同ジ

同 十五日迄ニ到達見込ノモノハ 那覇

其ノ後ハ 佐世保

○正誤(六)

四月二十三日通牒欄經契第三號ノ三六九別表中「亞鉛

鍍付ノモノ一疋ニ付」ノ欄十四行目「一三三〇」ハ

「一三三〇」ノ誤

○艦船所在

印ハ「ハホ」  
指定ヲ要セズ

○五月五日午前十時調

【横須賀】對馬▲大鯨▲鳥海、愛宕、那珂▲阿武隈、春日

沖風▲

▲峯風▲、▲響▲、雷▲、電▲、羽風、

秋風、▲島風▲、沙風▲、灘風▲

▲掃六、掃五、掃四、掃一、掃三

富士▲、尻矢、洲崎、佐多、野島

(餘谷)▲、(劍崎)▲、(高崎)▲

【長浦】

▲嚴島

▲曉、漣、狹霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五八▲、呂五九▲、伊二四、伊二三、伊七

【石川島】

(塙)▲

【横濱】

(雁)▲

【浦賀】

(山風)▲、(涼風)▲

【館山】

▲山城

▲澤風▲、夕風

【神社】

▲磐手、八雲

【大湊】

▲神風、野風、波風、沼風、帆風

【吳】

▲矢矧、韓崎▲、比叡▲、淺間、最上▲、球磨、

扶桑、青葉、衣笠、安宅▲、▲羽黑▲、那智▲

伊勢、▲白鷹

夕顔、▲藤、薄、叢雲、薄雲、矢風、▲初雪、

吹雪、白雪

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

【大阪】

▲古鷹▲

【神戸】

(滿潮)▲、伊六三▲、伊五九▲

【因島】

▲熊野▲、(伊八)▲、(伊七五)▲、(呂三四)▲

【相生】

▲能登呂

【玉】

(鷲)▲

【江田内】

▲平戸

【室積】

▲大井

【宿毛】

▲陸奥、長門、日向、▲霧島、榛名、▲由良、

名取、鬼怒、▲川内、▲五十鈴、▲高雄、

摩耶、▲神通、▲迅鯨

▲夕立、村雨、五月雨、白霧、有明、夕暮、

▲初霜、子日、若葉、初春、▲臘、曙、潮、

▲天霧、朝霧、夕霧、▲綾波、磯波、浦波、

敷波

伊二、伊一、伊三、伊五、伊四、伊六、

伊六八、伊六九、伊七〇、伊六一、

伊六二、伊六四、伊六五、伊六六、伊六七

間宮、鳴戸、鶴見

【尾末灣】

▲陸月、如月

【舞鶴】

▲吾妻▲

▲白雲▲、東雲▲

海軍公報(部内限) 第二千六百三號 昭和十二年五月五日

【佐世保】(春雨)▲(海風)▲(大潮)▲  
 赤城▲加古、長良、金剛、▷常磐  
 櫻▲梨▲竹▲榎▲桃▲柳▲檜▲菱▲菫▲  
 蓼▲蓬▲江風  
 呂三〇▲ 呂三一▲ 呂三二▲ 呂六〇、  
 呂六一、 呂六二、 呂六七、 呂六五、  
 呂六六、 呂六八、 呂六三、 伊六〇、  
 呂初雁、真鶴、千鳥  
 敷島▲早鞆  
 (朝潮)▲(伊七四)▲

【古江】友鶴  
 三限▲▷妙高、北上  
 追風▲疾風▲ 呂菊月、望月、三日月、夕月

【有明灣】▷長鯨  
 伊七三、伊七一、伊七二、 伊五三  
 掃一七、掃一八

【馬公】嵯峨▲  
 松風、朝風、旗風、春風

【基隆】芙蓉  
 掃一五、掃一三

【蔚山】檜、葦、柿

【清津】龍田  
 掃一六  
 掃一四

【旅順】掃一六  
 掃一四

【大連】葵  
 掃一四

【青島】▷天龍、▷八重山、堅田、鳥羽▲

【上海】▷夕張

【航海中】  
 隱戸 (四月二十六日横須賀發—桑港へ)  
 襟裳 (一日吳發—桑港へ)  
 足柄 (三日馬太發—「ボーツマス」へ)  
 木曾 (三日横須賀發—相模灘へ)  
 加賀、 呂文月、水無月、皐月、長月 (四日有明灣發—宿毛へ)  
 時雨 (四日佐伯發—宿毛へ)  
 太刀風 (四日長浦發—館山へ)  
 保津 (五日九江發—漢口へ)  
 龍驤、鳳翔、彌生 (五日佐伯發—宿毛へ)  
 卯月 (五日宿毛發—徳山へ)  
 伊五七 (五日館山發—相模灘へ)  
 伊五八 (五日江田内發—吳へ)  
 伊五七 (五日館山發—相模灘へ)

【南京】運  
 燕湖 栗  
 漢口 勢多  
 長沙 比良  
 宜昌 熱海  
 重慶 二見  
 馬尾 朝顔  
 汕頭 若竹、吳竹、早苗  
 廣東 劉萱  
 作業地 ▷沖島、神威、駒橋、勝力、▷多摩、淀  
 呂六四  
 呂夕風、朝風  
 膠州、大泊  
 呂鴻、隼、鴨、鵲



# 海軍公報

(部内限)第二千六百四號

海軍大臣官房

昭和十二年五月六日(木)

## ○令 達

官房第二三六八號

昭和十一年恩賜研學資金受賞者左ノ通定ム

昭和十二年五月六日

海 軍 大 臣

海軍大尉 坂東 正明

同 中川有太郎

海軍機關大尉 中村 威

同 山本 勝郎

海軍軍醫大尉 白田 正雄

(附)

左ノ對策ハ優秀ナルモノト認ム

横須賀軍港海面ニ於ケル細菌 海軍軍醫大尉 木會 勝人

新式調理施設ナキ艦船ニ於ケル調理法竝ニ戰時應急調理ニ就キ研究セヨ 海軍主計少佐 戸來 三郎

## ○辭 令

海軍中佐 佐佐木 高信

滿洲國へ出張ヲ命ス(海軍省)

中華民國へ出張ヲ命ス 海軍大佐 多田 武雄

同 辻 榮作

滿洲國へ出張ヲ命ス(以上皆同)

## ○雜 款

○軍事郵便取扱開始

今般天津駐屯軍司令部内ニ軍事郵便所ヲ開設セラレ天津門司間及天津大連間ニ軍事郵便ノ取扱ヲ開始セルヲ以テ天津駐在武官宛郵便物ハ自今門司郵便局氣付軍事郵便トシテ發送相成度

(海軍省 副官)

○第十二驅逐隊(薄雲、叢雲)行動豫定

地 名 着 五月 七日 發

雜 鶴 五月 九日

○郵便物發送先  
第十二驅逐隊(薄雲、叢雲)宛  
自 今

舞 鶴

○郵便物發送先變更(一月十六日)

第二十二驅逐隊(長月)宛(給與關係書類ハ長月氣付未計長宛)

五月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 宿 毛

同 十八日迄ニ 同 宮崎縣細島

其ノ後ハ 第二航空戰隊司令部ニ同シ

驅逐艦皐月宛

五月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 宿 毛

同 十八日迄ニ 同 志 布 志

其ノ後ハ 第二航空戰隊司令部ニ同シ

驅逐艦文月、水無月ハ從前通

司令宛書類ニシテ長月及皐月ニ關係アルモノハ寫

ヲ直接同艦宛送付相成度

○事務所設置

驅逐艦涼風艦裝具事務所ヲ浦賀船渠株式會社内ニ設置

シ本月三日ヨリ事務ヲ開始セリ

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月六日午前十時調

【横須賀】

對馬▲大鯨▲鳥海、愛宕、那珂▲阿武隈、春日、木曾、▽磐手、八雲

沖風▲峯風▲▽響▲雷▲電▲羽風、秋風、▽島風▲沙風▲灘風▲澤風

▽掃六、掃五、掃四、掃一、掃三

富士▲尻矢、洲崎、野島

鈴谷▲(劍崎)▲(高崎)▲

【長浦】

▽嚴島

▽曉、漣、狹霧

呂五四▲呂五五、呂五六、呂五七▲呂五八▲呂五九▲▽伊二四、伊二三、伊七

【石川島】

(鳩)▲

(雁)▲

【浦賀】

(山風)▲(涼風)▲

▽神風、野風、波風、沼風、帆風

▽矢矧、韓崎▲比叡▲淺間、最上▲球磨、扶桑、青葉、衣笠、安宅▲▽羽黒▲那智▲

伊勢、▽白鷹

夕顔、▽藤、薄、叢雲、薄雲、矢風、▽初雪、吹雪、白雪

呂五一▲呂五三▲呂二六▲呂二七▲呂二八▲呂三三、伊五一、伊五二、伊五五▲▽伊二二、伊二一、伊五四、伊五七、伊五六、伊五八

伊五七、伊五六、伊五八

【大阪】

石廊、室戸、朝日、攝津、知床  
(蒼龍)▲(千歳)▲

【神戸】

(滿潮)▲  
伊六三▲伊五九▲  
熊野▲(伊八)▲(伊七五)▲(呂三四)▲

【因島】

葛

【相生】

能登呂

【玉】

(雉)▲

【江田内】

平戸

【三津濱】

大井

【宿毛】

陸奥、長門、日向、▽霧島、榛名、▽由良、名取、鬼怒、▽川内、▽五十鈴、▽龍驤、鳳翔、▽高雄、摩耶、▽神通、▽迅鯨

▽加賀、▽長鯨

▽夕立、村雨、五月雨、▽時雨、白露、有明、夕暮、▽初霜、子日、若葉、初春、▽睦月、如月、彌生、▽臘、曙、潮、▽天鏡、朝霧、夕霧、▽綾波、磯波、浦波、敷波、▽文月、水無月、皐月、長月

伊二、伊一、伊三、▽伊五、伊四、伊六、伊六八、伊六九、伊七〇、▽伊六一、伊六二、伊六四、▽伊六五、伊六六、伊六七、伊七三、伊七一、伊七二、▽伊五三

鳴戸、鶴見

吾妻▲

白雲▲東雲▲

【舞鶴】

吾妻▲東雲▲

海軍公報(部内限) 第二千六百四號 昭和十二年五月六日

三三五

【佐世保】 (春雨)▲、(海風)▲、(大潮)▲  
 赤城▲、加古、長良、金剛、▷常磐  
 櫻▲、梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、菱▲、董▲  
 蓼▲、蓬▲、江風  
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇、  
 呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、  
 呂六六、呂六八、呂六三、伊六〇  
 呂初雁、眞鶴、千鳥  
 敷島▲、早鞆  
 (朝潮)▲、(伊七四)▲

【古江】 友鶴  
 三隈▲、▷妙高、北上  
 追風▲、疾風▲、▷菊月、望月、三月月、夕月  
 嵯峨▲

【馬公】 松風、朝風、旗風、春風  
 掃一五、掃一三

【釜山】 龍田  
 龍田

【清津】 龍田  
 龍田

【旅順】 龍田  
 龍田

【大連】 掃一四  
 掃一六

【青島】 葵  
 葵

【上海】 夕張  
 夕張、▷天龍、▷八重山、堅田、鳥羽▲

【南】 栗  
 栗

【燕】 梅  
 梅

【漢口】 勢多  
 勢多

【宜昌】 熱海  
 重慶、二見  
 馬尾、朝顔  
 汕頭、▷若竹、吳竹、早苗  
 廣東、劉登  
 作樂地、▷沖島、神威、駒橋、勝力、多摩、淀  
 夕風、朝風  
 呂六四  
 呂鴻、隼、鴨、鵠  
 膠州、大泊

【航海中】  
 隱戸 (四月二十六日横須賀發―桑港へ)  
 襟裳 (一日吳發―桑港へ)  
 足柄 (三日馬太發―「ポーツマス」へ)  
 保津 (五日九江發―館山へ)  
 天津 (五日基降發―漢口へ)  
 芙蓉 (五日基降發―馬尾へ)  
 佐多 (五日横須賀發―大阪へ)  
 比良 (六日長沙發―湘潭へ)  
 山城、夕風、掃一 (六日館山發―横須賀へ)  
 山城、夕風、掃一 (六日館山發―宿毛へ)  
 掃一七、掃一八 (六日宿毛發―吳へ)  
 間宮 (六日宿毛發―徳山へ)

# 海軍公報

(部内限) 第二千六百五號

昭和十二年五月七日(金)

## 海軍大臣官房

### 〇令 達

官房第二三八四號

左記ニ依リ海軍砲術學校ニ於テ銃劍術及體操ノ臨時講習ヲ施行ス

左記第三號ノ講習員ヲ派遣スベシ

追テ所屬長官ハ派遣員ノ官氏名ヲ五月十五日迄ニ報告スルト共ニ海軍砲術學校長ニ通報スベシ

昭和十二年五月七日

海軍大臣

### 記

#### 一、講習ノ目的

各部ニ於ケル銃劍術及體操ノ實地指導者タルベキ下士官ニ銃劍術及體操ニ關スル技能ヲ修得セシムルニアリ

#### 二、講習期間

昭和十二年五月十七日ヨリ昭和十二年六月十五日迄

#### 三、講習員

銃劍術又ハ體操ニ長ズル下士官ニシテ昭和十三年十月迄現役滿期ト爲ラザルモノノ中ヨリ左ノ通選抜スルモノトス

横須賀鎮守府 八名

吳鎮守府 五名

佐世保鎮守府 四名

舞鶴要港部 一名

大湊要港部 一名

海軍兵學校 二名

海軍機關學校 一名

海軍經理學校 一名

#### 四、旅 費

横須賀以外ノ地ヨリ派遣ノ講習員ニ對スル旅費ハ講習開始ノ前日横須賀着、講習終了當日出發トシ請求ヲ俟テ別途配付ス但シ講習中ハ校内ニ起臥セシメ糶食ヲ給シ日當一日十五錢ヲ支給ス

海軍公報(部内限) 第二千六百五號、昭和十二年五月七日

三三七

五、雜件

講習ニ必要ナル器具ハ海軍砲術學校ニ於テ準備スル  
モノトス

○雜款

○郵便物閉糞交換一時停止  
軍艦嵯峨ト門司郵便局間ノ軍艦郵便ハ四月下旬ヨリ九  
月迄一時停止セララル  
追テ右期間内到達見込ノモノハ馬公宛ノコト  
(海軍省副官)

○正誤 (スミ)  
四月六日令達欄官房第三〇六號ノ二公稱第八五〇號  
「カッター」(九米)及公稱第三一八二號傳馬船(十米)  
ノ項中「馬公要港部」ハ「馬公防備隊」ノ誤

○艦船所在

指印ハ「ハ」ホフ  
定ワ「ア」セズ

○五月七日午前十時調

【横須賀】

對馬▲大鯨▲鳥海、愛宕、那珂▲阿武隈、春日、木曾、▽山城、▽磐手、八雲、沖風▲峯風▲▽響▲雷▲羽風、秋風、島風▲沙風▲灘風▲▽太刀風、澤風、掃六、掃五、掃四、掃一、掃三、富士▲尻矢

【長浦】

▽巖島、▽曉、漣、狹霧、夕風、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五八、呂五九、▽伊二四、伊二三、伊七

【石川島】

▽鳩▲、▽雁▲、(山風)▲、(涼風)▲、神風、野風、波風、沼風、帆風

【大泊】

矢矧、韓崎▲、比叡▲、淺間、最上▲、球磨、扶桑、青葉、衣笠、安宅▲、▽羽黒▲、那智▲、伊勢、▽長鯨、夕顔、▽藤、薄、矢風、▽初雪、吹雪、白雪、呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲、呂二八▲、呂三三、伊五一、伊五二、伊五五▲、▽伊二二、伊二一、伊五四、伊五七、伊五六、伊五八、伊七二

【大阪】

掃一七、掃一八、石廊、室戸、朝日、攝津、(蒼龍)▲、(千歲)▲、古鷹▲

【神戸】

(滿潮) 伊六三▲、伊五九▲、熊野▲、(伊八)▲、(伊七五)▲、(呂三四)▲

【因島】

能登呂▲

【相生】

能登呂▲

【玉】

能登呂▲

【江田内】

平戸

【徳山】

問宮

【三津濱】

大井

【宿毛】

陸奥、長門、日向、▽霧島、榛名、▽由良、名取、鬼怒、▽川内、▽五十鈴、▽龍驤、鳳翔、▽高雄、摩耶、▽神通、▽迅鯨、加賀

【佐伯】

伊七三、伊七二

夕立、村雨、五月雨、▽時雨、白露、有明、夕暮、▽初霜、子日、若葉、初春、▽陸月、如月、彌生、卯月、▽臘、曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、▽綾波、磯波、浦波、敷波、▽文月、水無月、皐月、長月、伊二、伊一、伊三、▽伊五、伊四、伊六、伊六八、伊六九、伊七〇、▽伊六一、伊六二、伊六四、▽伊六五、伊六六、伊六七、伊五三、鳴戸、鶴見

海軍公報(部内限) 第二千六百五號

昭和十二年五月七日

三三九

【舞鶴】

吾妻 ▲  
白雲 ▲ 東雲 ▲  
呂六四

【春雨】(海風) ▲ (大潮) ▲  
赤城 ▲ 加古、長良、金剛、常磐

【佐世保】

梨 ▲ 竹 ▲ 榎 ▲ 桃 ▲ 柳 ▲ 檜 ▲ 菱 ▲ 葦 ▲  
蓼 ▲ 蓬 ▲ 江風  
呂三〇 ▲ 呂三一 ▲ 呂三二 ▲ 呂六〇、  
呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、  
呂六五、呂六六、呂六八、呂六九、伊六〇

【初雁】真鶴、千鳥  
敷島 ▲ 早鞆

【朝潮】(伊七四) ▲

【長崎】

三隈 ▲  
追風 ▲ 疾風 ▲

【馬公】

嵯峨 ▲  
松風、朝風、旗風、春風

【鎮海】

檜 ▲ 葦 ▲ 柿

【青島】

葵 ▲  
出雲、八重山、堅田、鳥羽 ▲

【上海】

逆

【南京】

栗 ▲  
勢多、保津

【漢口】

熱海

【宜昌】

二見

【重慶】

芙蓉、朝顏

【馬尾】

吳竹、早苗

【汕頭】

吳竹、早苗

【廣東】

劉堂  
沖島、神威、駒橋、勝力、多摩、淀

膠州

【航海中】

隱戸 (四月二十六日横須賀發—桑港へ)

襟裳 (一日吳發—桑港へ)

足柄 (三日馬太發—「ポーツマス」へ)

佐多 (五日横須賀發—大阪へ)

天龍 (六日上海發—青島へ)

龍田 (六日旅順發—上海へ)

夕張 (六日上海發—旅順へ)

若竹 (六日油頭發—廣東へ)

梅 (六日蕪湖發—九江へ)

掃一六 (六日旅順發—吳へ)

掃一四 (六日大連發—吳へ)

掃一三 (六日釜山發—吳へ)

野島 (六日横須賀發—名古屋へ)

知床 (六日吳發—佐世保へ)

洲崎 (六日横須賀發—桑港へ)

妙高、北上、(六日) 望月、三日月、夕月 (七日長崎發—三角へ)

比良 (七日湘潭發—長沙へ)

白鷺 (七日吳發—横須賀へ)

友鶴 (七日古江發—鹿兒島へ)

掃一五 (七日佐伯發—吳へ)



# 海軍公報

(部内限) 第二千六百六號

海軍大臣官房

昭和十二年五月八日(土)

## ○令 達

官房第二四〇七號  
昭和十一年官房第一五〇五號二、工費ノ整理第一項  
中「見習工」ヲ「見習工員」ニ改メ、同第二項ヲ左ノ  
如ク改ム

工費定額ニ見込ムベキ附隨工費ノ範圍ハ之ヲ左ノ通  
トス

(イ) 海軍工員規則第五十七條ニ依ル勤勉加給

(ロ) 海軍工員規則第五十八條第二項ニ依ル特殊時間  
加給

(ハ) 海軍工員規則第五十九條ニ依ル特殊事業加給

(ニ) 海軍工員規則第六十二條ニ依ル夜業加給

(ホ) 海軍工員規則第六十三條ニ依ル獎勵加給

昭和十二年五月八日

海 軍 大 臣

附 則

本改正ハ昭和十二年六月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

(参照) 昭和十一年官房第一五〇五號ハ海軍工作廳ニ於  
ケル工費ノ整理中本費及附屬費ノ區分致ニ工  
費ノ整理ニ關スル件ナリ

## ○辭 令

海軍少佐 藤 井 茂

中華民國へ出張ヲ命ス(ハ前海軍省)

海軍造船少佐 松本 喜太郎(艦 本)

驅逐艦海風審議委員ヲ命ス(ハ前海軍艦政本部)

## ○雜 款

○司令驅逐艦變更

第十二驅逐隊司令ハ本月六日司令驅逐艦ヲ白雲ヨリ薄  
雲ニ變更セリ

○郵便物發送先

吳防備戰隊司令部、第十一掃海隊宛

五月十一日迄ニ到達見込ノモノハ

同 十六日迄ニ 同

共ノ後ハ

吳 宇和島

驅逐艦澤風宛

五月 十日迄ニ到達見込ノモノハ

同 二十二日迄ニ 同

共ノ後ハ

館 青 館 山  
山 森 山

○事務所移轉

中華民國在勤帝國大使館附海軍武官事務所、同別館並

ニ武官官舎左記へ移轉セリ

記

事務所 上海寶樂安路二四八號

官舎 同 (電話 四六一五八) 同構内

追而郵便物宛名ハ (同 四六一五五)

佐世保郵便局經由、上海海軍特別陸戰隊氣付

大使館附海軍武官府トセラレ度

(中華民國在勤帝國大使館附海軍武官府)

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月八日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、大鯨▲、烏海、愛宕、那珂▲、阿武隈、

春日、木曾、▽山城、▽磐手、八雲

沖風▲、峯風▲、▽櫻▲、雷▲、電▲、羽風、秋風、

▽島風▲、沙風▲、灘風▲、▽太刀風

▽掃六、掃五、掃四、掃一、掃三

富士▲、尻矢

(鈴谷)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

▽嚴島

▽曉、漣、狹霧、夕風

呂五八▲、呂五九▲、▽伊二四、伊二三、伊七

掃二

【石川島】

(鳩)▲

【横濱】

(雁)▲

【浦賀】

(山風)▲

(涼風)▲

【名古屋】

野島

【大湊】

▽神風、野風、波風、沼風、帆風

【大泊】

矢矧、韓崎▲、比叡▲、淺間、最上▲、球磨、

扶桑、青葉、衣笠、安宅▲、▽羽黒▲、那智▲、

伊勢、▽長鯨

夕顔、▽藤、薄、矢風、▽初雪、吹雪、白雪

呂五八▲、呂五九▲、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、呂三三▲、伊五一、伊五二、

伊五五▲、▽伊三三、伊二二、伊五四、

▽伊五七、伊五六、伊五八、伊七一

掃一七、掃一八、掃一五、掃二三

石廊、室戸、朝日、攝津

若龍▲、(千歲)▲

古鷹▲

佐多

【大阪】

▽滿潮

【神戸】

▽伊六三▲、伊五九▲

(熊野)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲、(呂三四)▲

【因島】

▽能登呂▲

【相生】

(鷲)▲

(雉)▲

【江田内】

平戸

【廣島灣】

大井

【徳山】

問宮

【宿毛】

▽陸奥、長門、日向、▽霧島、榛名、▽由良、

名取、鬼怒、▽川内、▽五十鈴、▽龍驤、

鳳翔、▽高雄、摩耶、▽神通、▽迅鯨、

▽加賀

▽夕立、村雨、五月雨、▽時雨、白露、有明、

夕暮、▽初霜、子日、若葉、初春、▽陸月、

如月、彌生、卯月、▽朧、曙、潮、▽天霧、

朝霧、夕霧、▽綾波、磯波、浦波、敷波、

▽文月、水無月、皋月、長月

▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、伊四、伊六、

伊六八、伊六九、伊七〇、▽伊六一、

伊六三、伊六四、▽伊六五、伊六六、伊六七、

海軍公報(部内限) 第二千六百六號

昭和十二年五月八日

三四三

【舞鶴】 吾妻 ▲ 東雲 ▲  
 白雲 ▲ 呂六四 ▲  
 呂六四 ▲ 鴻、隼、鴨、鵲  
 (春雨) ▲ (海風) ▲ (大潮) ▲  
 赤城 ▲ 加古 ▲ 長良 ▲ 金剛 ▲ 常磐 ▲  
 梨 ▲ 竹 ▲ 樞 ▲ 桃 ▲ 柳 ▲ 檜 ▲ 菱 ▲ 堇 ▲  
 蓼 ▲ 蓬 ▲ 江風 ▲ 夕月 ▲  
 呂三〇 ▲ 呂三一 ▲ 呂三二 ▲ 呂六〇 ▲  
 呂六一 ▲ 呂六二 ▲ 呂六七 ▲ 呂六五 ▲  
 呂六六 ▲ 呂六八 ▲ 呂六三 ▲ 伊六〇 ▲  
 呂初雁 ▲ 眞鶴 ▲ 千鳥 ▲  
 敷島 ▲ 早鞆 ▲ 知床 ▲  
 (朝潮) ▲ (伊七四) ▲

【佐世保】  
 三限 ▲ 追風 ▲ 疾風 ▲  
 妙高 ▲ 北上 ▲  
 菊月 ▲ 望月 ▲  
 嵯峨 ▲ 松風 ▲ 朝風 ▲ 旗風 ▲ 春風 ▲  
 檜 ▲ 葦 ▲ 柿 ▲  
 夕張 ▲ 菊 ▲ 萩 ▲  
 天龍 ▲ 葵 ▲

【上海】 出雲 ▲ 八重山 ▲ 堅田 ▲ 鳥羽 ▲

【南京】 栗 ▲

【九江】 梅 ▲ 勢多 ▲ 保津 ▲  
 漢口 ▲ 熱海 ▲  
 宜昌 ▲ 比良 ▲  
 長沙 ▲ 二見 ▲  
 重慶 ▲ 吳蓉 ▲ 朝顏 ▲  
 馬尾 ▲ 吳竹 ▲ 早苗 ▲  
 汕頭 ▲ 沖島 ▲ 神威 ▲ 駒橋 ▲ 勝力 ▲ 多摩 ▲ 淀 ▲  
 作業地 ▲ 夕風 ▲ 朝風 ▲ 膠州 ▲

【航海中】  
 隱戸 (四月二十六日横須賀發—桑港へ)  
 襟裳 (一日吳發—桑港へ)  
 足柄 (三日馬太發—「ホーツマス」へ)  
 龍田 (六日旅順發—上海へ)  
 若竹 (六日油頭發—廣東へ)  
 掃一六 (六日旅順發—吳へ)  
 掃一四 (六日大連發—吳へ)  
 洲崎 (六日横須賀發—桑港へ)  
 白鷹 (七日吳發—横須賀へ)  
 叢雲、薄雲 (七日吳發—舞鶴へ)  
 三日月 (七日長崎發—古江へ)  
 刈萱 (七日廣東發—馬公へ)  
 伊七三 (七日古江發—鹿兒島へ)  
 友鶴 (七日古江發—鹿兒島へ)  
 澤風 (八日横須賀發—館山へ)  
 伊五三 (八日宿毛發—吳へ)  
 鶴見 (八日宿毛發—佐世保へ)

海軍公報 (部内限) 第二千六百七號

昭和十二年五月十日(月)  
海軍大臣官房

○ 雜 款

○ 旗艦變更  
第三艦隊司令長官ハ本月八日旗艦ヲ出雲ヨリ龍田ニ變更セリ

○ 司令驅逐艦變更  
第十二驅逐隊司令ハ昨九日司令驅逐艦ヲ薄雲ヨリ白雲ニ變更セリ

○ 郵便物發送先  
第二航空戰隊司令部及軍艦加賀宛  
五月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 宿 毛  
同 十七日迄ニ 同 鹿兒島縣志布志  
其ノ後ハ 第二艦隊司令部ニ同ジ(本月十六日)  
第二十二驅逐隊宛ハ從前ノ通り

○ 郵便物發送先變更 (五月八日)  
本欄参照)  
驅逐艦澤風宛  
五月十八日迄ニ到達見込ノモノハ 小 樽  
其ノ後ハ 館 山

海軍公報 (部内限) 第二千六百七號 昭和十二年五月十日

○艦船所在

指印ハハホ  
定ヲ要セズ

○五月十日午前十時調

【横須賀】

對馬▲大鯨▲鳥海、愛宕、那珂▲阿武隈、春日、▷山城、▷磐手、八雲

沖風▲峯風▲▷響▲雷▲電▲羽風、秋風、

▷島風▲沙風▲灘風▲▷大刀風、狹霧

▷掃六、掃五、掃四、掃一、掃三

富士▲尻矢、鳴戸

(鈴谷)▲(劍崎)▲(高崎)▲

【長浦】

▷嚴島

▷曉、漣、夕風

呂五四▲呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五八▲呂五九▲▷伊二四、伊二三、伊七

掃二

(鳩)

(雁)▲(涼風)▲

▷澤風

▷神風、野風、波風、沼風、帆風

▷矢矧、韓崎▲▷比叡▲淺間、最上▲球磨、

扶桑、青葉、衣笠、安宅▲▷羽黒▲那智▲

伊勢、▷長鯨、大井

夕顔、▷藤、薄、矢風、▷初雪、吹雪、白雪

呂五一▲呂五三▲呂二六▲呂二七▲

呂二八▲呂三三、伊五一、伊五二、

伊五五▲▷伊二二、伊二一、▷伊五三、

伊五四、▷伊五七、伊五六、伊五八、

▷伊七三、伊七二、伊七一

▷掃一六、掃一四、掃一七、掃一八、掃一五、

掃一三

石廊、室戸、朝日、攝津、佐多

(蒼龍)▲(千歳)▲

古鷹▲

(滿潮)

▷伊六三▲伊五九▲

(熊野)▲(伊八)▲(伊七五)▲(呂三四)▲

▷能登呂▲

(鷲)

(雄)

▷平戸

▷陸奥、長門、日向、▷霧島、榛名、▷由良、

▷名取、鬼怒、▷川内、▷五十鈴、▷龍驤、

▷鳳翔、▷高雄、摩耶、▷神通、▷迅鯨、

▷加賀

▷夕立、村雨、五月雨、▷時雨、白露、有明、

▷夕暮、▷初霜、子日、若葉、初春、▷陸月、

▷如月、彌生、卯月、▷臘、曙、潮、▷天霧、

▷朝霧、夕霧、▷綾波、磯波、浦波、敷波、

▷文月、水無月、皐月、長月

▷伊二、伊一、伊三、▷伊五、伊四、伊六、

▷伊六八、伊六九、伊七〇、▷伊六一、

▷伊六二、伊六四、▷伊六五、伊六六、伊六七、

間宮

海軍公報(部内限) 第二千六百七號 昭和十二年五月十日

<p>【舞鶴】吾妻▲、多摩        呂白雲▲、東雲▲、叢雲、薄雲        呂六四        呂鴻、隼、鴨、鶴        (春雨)▲、(海風)▲、(大潮)▲        赤城▲、加古、長良、金剛、常磐        梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、菱▲、葦▲        蓼▲、蓬▲、江風        呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇、        呂六一、呂六二、呂六六、呂六五、        呂六六、呂六八、呂六三、伊六〇        呂初雁、真鶴、千鳥        敷島▲、早鞆、鶴見        (朝潮)▲、(伊七四)▲</p>	<p>【佐世保】        赤城▲、加古、長良、金剛、常磐        梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、菱▲、葦▲        蓼▲、蓬▲、江風        呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇、        呂六一、呂六二、呂六六、呂六五、        呂六六、呂六八、呂六三、伊六〇        呂初雁、真鶴、千鳥        敷島▲、早鞆、鶴見        (朝潮)▲、(伊七四)▲</p>	<p>【長崎】三隈▲、疾風▲        三池▲、北上        三角▲、妙高        古江▲、友鶴        馬公▲、磯崎▲        鎮海▲、松風、朝風、旗風、春風、早苗、刈萱        旅順▲、夕張▲        安東▲、菊、萩        青島▲、天龍        上海▲、龍田、堅田、鳥羽</p>
<p>【航海中】        隱戸 (四月二十六日横須賀發—桑港へ)        襟裳 (一日吳太發—桑港へ)        足柄 (三日馬太發—「ポーツマス」へ)        洲崎 (六日横須賀發—桑港へ)        出雲 (八日上海發—佐世保へ)        運 (八日上海發—南京へ)        知床 (八日佐世保發—基隆へ)        八重山 (九日上海發—馬鞍群島方面へ)        白鷹 (九日鳥羽發—横須賀へ)        野島 (九日名古屋發—別府へ)        大泊 (九日大泊發—大湊へ)        木曾 (十日横須賀發—横濱へ)        三月月 (十日古江發—那霸へ)        夕月 (十日佐世保發—古仁屋へ)</p>	<p>【南京】栗        【九江】梅        【漢口】勢多、保津        【宜昌】熱海        【長沙】比良        【重慶】二見        【馬尾】吳蓉、朝顔        【汕頭】吳竹        【廣東】若竹        【作業地】沖島、神威、駒橋、勝力、淀        膠州、夕風、朝風</p>	

# 海軍公報 (部内限) 第二千六百八號

昭和十二年五月十一日(火)  
海軍大臣官房

## ○令 達

官房第二四五七號

左記ニ依リ海軍砲術學校ニ於テ海軍武道大會ヲ施行ス

左記第三第四號ノ人員ヲ派遣スベシ

追テ所屬長官ハ派遣員ノ所轄、官氏名及選士ノ技倆

ヲ五月三十日迄ニ報告スルト共ニ海軍砲術學校長ニ

通報スベシ

昭和十二年五月十一日

海軍大臣

### 一、目的

武道ヲ獎勵振作シ士氣ヲ振興スルニ在リ

### 二、期 日

昭和十二年六月十五日  
三、委 員

海軍砲術學校長ヲ委員長トシ委員、同附派出區分左ノ通定ム

派遣元	一般委員	審判委員 (委員附)	記 事
横 鎮	四	(一四)	(イ) 委員ハ鎮守府司令長官ノ定ムル所ニ依ル
吳 鎮	一	(三)	(ロ) 内員數ハ夫々武道教師ヲ以テ之ニ充ツルモノトシ情況ニ依リ仕合ヲ爲サシムルコトアリ
佐 鎮	一	(三)	(ハ) 吳、佐世保ヨリ派遣スベキ委員ハ選士ヲ兼スルモノトス
兵學校		(三)	横須賀鎮守府司令長官ハ上記ノ外所要ノ委員、委員附ヲ命ズルコトヲ得
機關學校		(二)	
經理學校		(二)	
四、選 士			(一) 部内選士派遣員數ノ標準左ノ通定ム

海軍公報(部内限) 第二千六百八號

昭和十二年五月十一日

三四九



	劍道		柔道		銃劍術		記事
	士官	特准	士官	特准	准士官以上	下士官兵	
第一艦隊	二	二	二	二	二	二	括弧内ハ官房第二三八四號ニ依ル臨時銃劍術講習員ヲ示ス
第二艦隊	二	二	二	二	二	三	
横鎮	二	二	二	二	二	六	
吳鎮	二	二	二	二	二	三	
佐鎮	二	二	二	二	二	三	
舞鶴要港部						(一)	
大湊港要部						(一)	
兵學校						(二)	
機關學校						(一)	
經理學校						(一)	
(二) 委員長ノ定ムル所ニ依リ適宜部外選士ヲ加フルコトヲ得							
五、實施要領							
實施ノ要領ハ委員長ノ定ムル所ニ依ル							
六、經費							
(一) 委員、委員附及選士ニ對スル旅費ハ別途配布ス							
(二) 右以外ノ所要經費ハ砲術學校長ニ別途配布ス							
○通牒							
航本第一五一九號 海軍航空本部航空事故研究調查會規程左ノ通定ム 昭和十二年五月十日 海軍航空本部長 海軍航空本部航空事故研究調查會規程							

第一條 昭和十二年官房第一六五七號ニ依リ海軍航空本部ニ航空事故研究調査會ヲ置ク

第二條 航空事故研究調査會ハ重大ナル航空事故ノ原因ヲ其ノ都度速ニ研究調査シ其ノ眞因ヲ闡明シテ事故防止ニ關スル參考資料ヲ提供スルト共ニ總括的ニ事故ノ原因ヲ探究シ事故防止ノ對策ヲ研究ス

第三條 航空事故研究調査會ハ海軍航空本部職員ヲ以テ左ノ如ク組織ス

委員長 教育部長  
委員 總務部長

第一課長 部員二名  
第三課長 部員一名  
教育部 首席部員 部員四名  
技術部 第一課長 部員七名  
第二課長 部員六名

第四條 委員長不在ノ場合ハ首席委員其ノ職務ヲ代行ス

第五條 委員長ハ航空事故調査書又ハ航空事故調査委員會委員長ヨリノ通報ヲ接受セル都度可成速ニ關係委員ヲ集合シ研究調査委員會ヲ開催スル外必要ニ應ジ研究調査委員會ヲ開催ス

第六條 委員長ハ必要アルトキハ研究調査會ニ委員以

外ノ航空本部職員ノ出席ヲ求メ説明又ハ意見ヲ徵スルコトヲ得

第七條 委員長航空本部職員以外ノ者ノ列席ヲ求ムル必要アルトキハ本部長ニ具申スベシ

第八條 委員長ハ研究調査委員會ヲ開催シタル場合可成速ニ別紙様式ニ依ル航空事故研究調査書ヲ作製シ之ニ該事故調査書又ハ航空事故調査委員會委員長ヨリノ通報ヲ添ヘ本部長ニ提出スベシ

第九條 委員長ハ概ネ三ヶ月毎ニ航空事故研究調査書ニ基キ航空事故統計ヲ作製シ之ニ意見ヲ附シ本部長ニ提出スベシ

第十條 航空事故研究調査會ニ幹事二名ヲ置キ教育部委員ヲ以テ之ニ充ツ幹事ハ委員長ノ命ヲ承ケ航空事故研究調査書及航空事故統計ノ起草其ノ他ノ事務ヲ掌理ス

第十一條 航空事故研究調査會ニ第三條ニ掲グル者ノ外左ノ主務委員ヲ置キ委員長ノ命ヲ承ケ航空本部各部(課)ノ主務事項ニ關シ幹事ニ協力セシム

總務部主務委員 一名  
教育部主務委員 一名

(幹事兼務スルヲ例トス)

技術部第一課主務委員 一名  
 同 第二課主務委員 一名  
 附則  
 昭和十年航本第六一〇號ハ之ヲ廢止ス (有)

(別紙)

航本空調機密第 號  
 昭和 年 月 日

海軍航空本部航空事故研究調査委員長

航空事故研究調書

(一、機密第 號報告ニ對スルモノ)

- 一、原因ニ關スル事項
- 二、對策ニ關スル事項
- 三、所 見

○雜款

○特務艦野島行動豫定變更 (四月七日) (本欄参照)  
 地名 着 發

横須賀 五月七日  
 名古屋 五月十一日  
 別府 五月十四日  
 佐世保 五月十三日

○書類各艦宛別送ノ件依頼  
 當隊(神風、野風、波風、沼風)五月下旬ヨリ九月上  
 旬ニ亘ル期間堪察加方面警備ニ從事セシメラル豫定  
 ニ有之候處其ノ間各艦ハ全ク分離行動ヲナスニ付從來  
 一併送付ヲ受ケタル書類ハ該期間各艦別ニ御送付ノコ  
 トニ御取計ヲ得度  
 追而所轄長宛書類ニシテ各艦ニテ關係アリト認メラ  
 ルル書類ハ各艦宛寫ヲ御送付相成度  
 (第一驅逐隊)

○艦船所在

▲印ハハカフ  
指定ヲ要セズ

○五月十一日午前十時調

【横須賀】

對馬▲大鯨▲鳥海、愛宕、那珂▲阿武隈、  
白鷹、春日、▷山城、▷磐手、八雲

沖風▲峯風▲響▲雷▲電▲羽風、秋風、  
島風▲汐風▲灘風▲太刀風、狹霧

▷掃六、掃五、掃四、掃一、掃三  
富士▲、尻矢、鳴戸

【鈴谷】▲(劍崎)▲、(高崎)▲

【長浦】▷殿島

▷曉、漣、夕風

呂五四▲、呂五五▲、呂五六▲、呂五七▲、  
呂五八▲、呂五九▲、▷伊二四、伊二三、伊七

掃二

【石川島】

(鳩)▲

【横濱】

(雁)▲

【浦賀】

(山風)▲、(涼風)▲

【館山】

▷神風、野風、波風、沼風、帆風

▷矢矧、韓崎▲、比叡▲、淺間、最上▲、球磨、  
扶桑、青葉、衣笠、安宅▲▷羽黒▲、那智▲、  
伊勢、▷長鯨、大井

夕顔、▷藤、薄、矢風、▷初雪、吹雪、白雪

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲、  
呂二八▲、呂三三▲、伊五一、伊五二、  
伊五五▲、▷伊二二、伊二一、▷伊五三、

伊五四、▷伊五七、伊五六、伊五八、  
▷伊七三、伊七二、伊七一  
▷掃一六、掃一四、掃一七、掃一八、掃一五、  
掃一三

石廊、室戸、朝日、攝津  
(蒼龍)▲、(千歳)▲

【大阪】

古鷹▲

【神戸】

(滿潮)

▷伊六三▲、伊五九▲

【因島】

(熊野)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲、(呂三四)▲

【相生】

能登呂▲

【玉】

(雄)▲

【江田内】

平戸

【徳山】

佐多

【宿毛】

陸奥、長門、日向、▷霧島、榛名、▷由良、  
名取、鬼怒、▷川内、▷五十鈴、▷龍驤、  
鳳翔、▷高雄、摩耶、▷神通、▷迅鯨、  
▷加賀

▷夕立、村雨、五月雨、▷時雨、白露、有明、  
夕暮、▷初霜、子日、若葉、初春、▷睦月、  
如月、彌生、卯月、▷朧、曙、潮、▷天霧、  
朝霧、夕霧、▷綾波、磯波、浦波、敷波、  
▷文月、水無月、皁月、長月

▷伊二、伊一、伊三、▷伊五、伊四、伊六、  
▷伊六八、伊六九、伊七〇、▷伊六一、  
伊六二、伊六四、▷伊六五、伊六六、伊六七、

海軍公報(部内限) 第二千六百八號 昭和十二年五月十一日

【別府】野島、問宮  
 【舞鶴】吾妻▲、多摩、東雲▲、叢雲、薄雲、呂六四  
 【佐世保】(春雨)▲、(海風)▲、(大潮)▲、赤城▲、加古▲、長良▲、金剛▲、出雲▲、常磐▲、梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、菱▲、菫▲、蓼▲、蓬▲、江風、呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六八、呂六九、伊六〇、初雁▲、真鶴▲、千鳥▲、敷島▲、早鞆▲、鶴見▲、(朝潮)▲、(伊七四)▲

【長崎】三隈▲、追風▲、疾風▲

【三池】北上▲、妙高▲

【三川】友鶴▲、望月▲

【馬公】嵯峨▲

【鎮海】松風▲、朝風▲、旗風▲、春風▲、早苗▲、刈萱▲、榆▲、葦▲、柿▲

【旅順】夕張▲

【安東】萩▲、萩

【營口】淀  
 【青島】天龍  
 【上海】龍田、八重山、堅田、鳥羽  
 【南京】栗  
 【九江】梅  
 【漢口】勢多、保津  
 【宜昌】熱海  
 【長沙】比良  
 【重慶】二見  
 【馬尾】芙蓉、朝顔  
 【汕頭】吳竹  
 【廣東】若竹  
 【作業地】沖島、神威、駒橋、勝力、膠州、夕風、朝風

【航海中】  
 隱戸 (四月二十六日横須賀發—桑港)  
 襟裳 (一日吳發—桑港)  
 洲崎 (六日横須賀發—桑港)  
 知床 (八日佐世保發—基隆)  
 大泊 (九日大泊發—大湊)  
 木曾 (十日横須賀發—芝浦)  
 三月月 (十日古江發—那霸)  
 夕月 (十日佐世保發—古仁屋)  
 連 (十一日南京發—九江)  
 萩月 (十一日三角發—名護屋)

(號外五頁)

海軍公報(部内限)號外

昭和十二年五月十一日(火)  
海軍大臣官房

○通牒

經契第三號ノ三七三

昭和十二年四月一日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

麻帆布購買合併契約ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ左記ノ通帝國製麻株式會社、日滿亞麻  
紡織株式會社ト契約締結致候條左ニ依リ處理相成度

記

一二契雜第貳號

(四)

契約書

海軍省經理局長村上春一(以下甲ト稱ス)ハ麻帆布(以  
下本品ト稱ス)購買ニ關シ帝國製麻株式會社常務取締  
役河路寅三、日滿亞麻紡織株式會社專務取締役木場貞  
一郎(以下乙ト稱ス)ト契約スルコト左ノ如シ

第壹條 乙ハ昭和拾貳年四月壹日以降昭和拾參年參月  
參拾壹日ニ至ル期間甲又ハ甲ノ指定スル者ノ註文ニ  
ヨリ左記價格ヲ以テ本品ヲ供給スルモノトス

品名	數量	價格	摘要
上帆布壹號 (鯨印壹號)	壹米	壹五八	
同上貳號 (鯨印貳號)	"	壹五壹	
同上參號 (鯨印參號)	"	壹四四	
同上肆號 (鯨印肆號)	"	壹參六	
同上伍號 (鯨印伍號)	"	壹貳八	
同上陸號 (鯨印陸號)	"	壹貳〇	
同上七號 (鯨印七號)	"	壹壹參	
同上八號 (鯨印八號)	"	壹〇六	
並帆布壹號 (小錨壹號)	"	九〇	

海軍公報(部内限)號外

同 上貳號 (小錨貳號) (ヨット印貳號)	"	八八	<p>本單價中ニハ納入地迄ノ持込費ヲ含ム</p> <p>第貳條 本品ハ官ノ指定スル規格ニ合格セルモノナルヲ要ス</p> <p>第參條 甲又ハ甲ノ指定スル者本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ寸法、規格、數量、納期、納入場所其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル註文書(様式甲)ヲ乙ニ送付ス</p> <p>第四條 乙ハ前條ノ註文書ヲ受ケタルトキハ購買番號、單價、代價、其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル承諾書(様式乙)ヲ註文者ニ提出スルモノトス</p> <p>第五條 本品納入地ニ到達シタルトキハ受領廳ニ於テ必要ト認ムル検査ヲ行ヒ合格ノ上之ガ引渡ヲ受クル</p>
同 上參號 (小錨參號) (ヨット印參號)	"	八六	
同 上四號 (小錨四號) (ヨット印四號)	"	八四	
同 上五號 (小錨五號) (ヨット印五號)	"	八貳	
同 上六號 (小錨六號) (ヨット印六號)	"	八〇	
黒 染 帆 布	壹 七 參		

モノトス

第六條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内譯明細書ヲ附シタル代金請求書ヲ受領廳ニ提出スルモノトス  
分割納入ノ場合ニアリテハ前項ニ準ジ請求書ヲ提出スルコトヲ得

第七條 官ニ納入シタル本品代價ハ前條ニ依リ代金請求書受理後拾五日以内ニ當該支出官ニ於テ支拂フモノトス

第八條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非ラザレハ本契約ニ因リテ生スル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得サルモノトス

第九條 甲ハ必要ト認ムル場合ニハ甲ノ指定スル官吏ヲシテ本品ノ原價ヲ調査セシムルコトアヘシ此ノ場合乙ハ官ニ於テ必要ト認ムル資料ヲ提出スルモノトス

第十條 本契約書ニ明掲ノ外ハ海軍契約規程並ニ同施行手續ニ依ルモノトス  
右契約ヲ證スル爲メ本書試通ヲ作り各自記名捺印シテ各共ノ壹通ヲ保有スルモノナリ

昭和拾貳年四月壹日

海軍省經理局長 村 上 春 一





1401

番 號

昭和 年 月 日

註文者.....

..... 御 中

麻 帆 布 註 文 書

様式甲 (美濃紙半葉)

購買番號		納 期	
用 途		納入場所	
品 名	數 量	單 價	代 價
計			
記 事			

(昭和十二年五月十一日公報 (部内限) 外號別紙)

1402

番 號

様式乙  
(美濃紙半葉)

昭和 年 月 日

..... 株式會社

..... 御 中

麻 帆 布 御 註 文 承 諾 書

但シ納期ハ本表申出通御承認被下度願上候

購買番號		納 期	指定	
註文 年月日		納入場所	申出	
品 名	數 量	單 價	代 價	
計				
記 事				